



二次元コードから
閲覧可能です。

伝統芸能の復活が 地域を活性化!!

文部科学省は、小学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」で、各学校が定める学習内容について、次のように述べています。「全ての地域社会には、その地域ならではのよさがあり特色がある。古くからの伝統や習慣が現在まで残されている地域、地域の気候や風土を生かした特産物や工芸品を製造している地域など、様々に存在している。…これらの特色に応じた課題は、よりよい郷土の創造に関わって生じる地域ならではの課題であり、児童が地域における自己の生き方との関わりで考え、よりよい解決に向けて地域社会で行動していくことが望まれている。」



本号では、教職員と地域住民と子供が思いを一つにして、地域の伝統芸能を復活させようとしている美和小学校を紹介します。

伝統芸能を生かし、新しい学校としてスタートした 美和小学校！

「龍王おどり」は3年前、統合前の美和東小の時に復活させました。地域の熱い思いを子供たちがしっかりと受け止めています。「秋掛太鼓」は、昨年度作成した新しい教育課程に位置付けた長い歴史と伝統を持つ地域の文化財です。神楽も合わせ5・6年生が探究的に学んでいます。

＜西浦 校長＞



「龍王さま」に雨乞いし、願いが叶って感謝の踊りを奉納する様子を表現するんだよ。

＜地域住民＞

「秋掛太鼓」は、地元の神社や祭りにおいて、地域の豊作祈願や悪霊退治のために演奏されたんだよ。力強いリズムと独特の演奏スタイルが特徴だよ。

休み時間も練習しています。新しい美和小のみんなで、気持ちも新たに地域の魅力を発信します。

＜子供＞

「ハーモニーみわ」で行われるこども芸術大会にも出演します。楽しみです。

＜子供＞

美和東小でも踊ったけど、今年は去年と違う楽しさがあるな。

＜子供＞

地域の皆さんの演技は力強さがあり、大きな動きがあり、一体感があってとてもかっこいいです。

＜子供＞

秋掛太鼓に14人、龍王踊りに20人、自分たちの希望で決めました。太鼓は迫力があり、とても楽しいです。

＜子供＞

秋掛太鼓の演奏については、校長先生が、子供たちと美和町にあった6つの校区を「校区1周ウォーク(道のり30km)」で歩いて回っている時、「大人(後継者)ができなくなって困っています」という声を聞き、実現したそうです。地域の伝統芸能を学習として教材化し、地域住民を指導者とする事で、人づくり・つながりづくりが深まっています。地域のイベント等で演奏・演技することで、地域の活性化にも大いに貢献しています。

